

【背景】

曾野木地域では、市営住宅跡地活用の検討や、曾野木・第二曾野木保育園の老朽化による統合の検討をきっかけとして、実行計画の策定に着手し、平成28年10月から翌年5月まで全4回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

【再編の実施時期】

主要な施設の再編は、平成35年度を目途に実施することとします。
また、新規整備施設の基本構想など詳細な検討の進捗状況や財政状況などにより、再編時期や内容について適宜見直しを行うこととします。

資料3

公共施設の再編計画

地域の拠点を公民館と市営住宅跡地の二拠点とし、それぞれ機能を住み分ける

【概要】

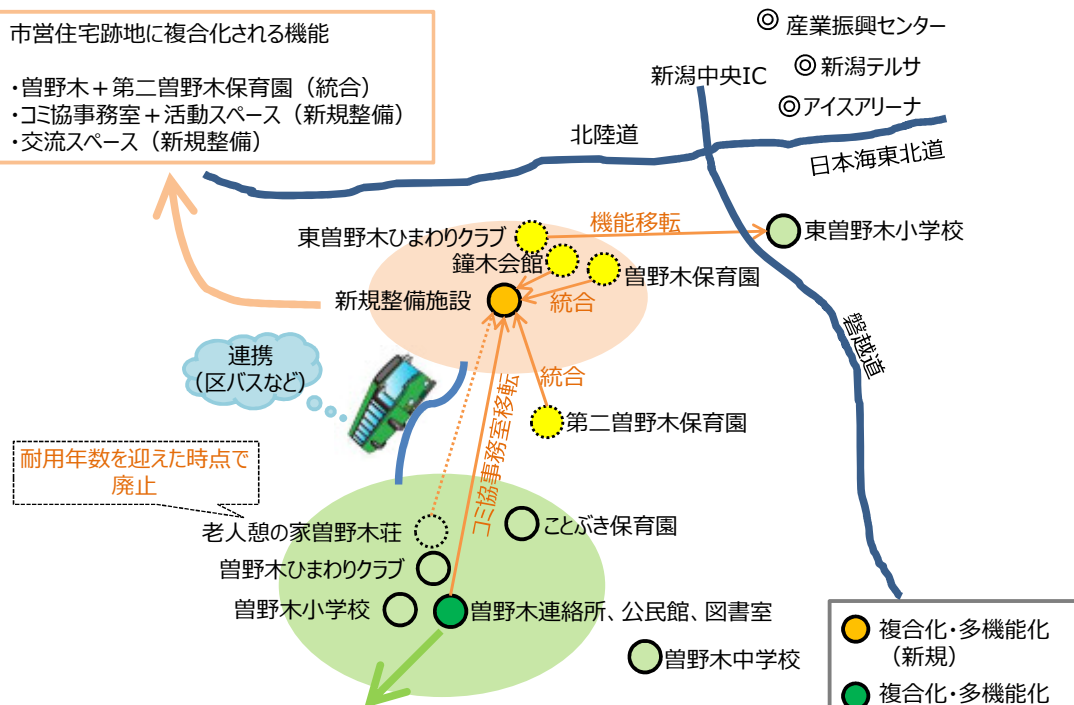
- コミュニティ活動を行う機能の一部を市営住宅跡地に移転・拡充し、新施設を整備
- 曾野木・第二曾野木保育園を統合し、新施設に複合化
- 新施設は民間活力を導入を検討（保育園民営化・テナントスペースなど）し、コスト削減
- 老人憩の家曾野木荘は、風呂以外の機能を新施設に移転・現在の施設は耐用年数を迎えた時点で廃止
- 鐘木会館の機能は、新施設に移転

【効果】

- コミュニティ活動機能が拡充され、活動の活性化が期待
- コミュニティ拠点・保育園・老人憩の家の機能が複合化され、多世代交流が期待
- 保育園の老朽化や駐車場不足が解消
- 民間活力を導入しコストを削減することで、将来世代の負担軽減

市営住宅跡地に複合化される機能

- ・曾野木 + 第二曾野木保育園（統合）
- ・コミ協事務室 + 活動スペース（新規整備）
- ・交流スペース（新規整備）



現在の公民館周辺に存続する機能

- ・地区公民館 + 図書室
- ・連絡所
- ※公民館に仮拠点を置くコミ協事務室が移転後、こどもの居場所に転用

再編スケジュール

		H29・30年度	H31・32年度	H33・34年度	H35年度
市営住宅跡地 新規整備施設	新設	基本構想	設計	工事	供用開始
曾野木保育園	廃止	新規整備施設への複合化に向け 構想・設計			移転後 解体・売却
第二曾野木 保育園	廃止				移転後 解体・売却
鐘木会館	廃止				移転後 解体・売却
老人憩の家 曾野木荘	将来 廃止	将来廃止に向け準備			
東曾野木小学校	存続	存続			
東曾野木 ひまわりクラブ	廃止	東曾野木小へ 移転	解体・売却に向け準備	解体・売却	
曾野木連絡所・ 公民館・図書室	存続	存続			
ことぶき保育園	存続	存続 (将来、需要がなくなった場合は統合保育園へ吸収の可能性)			
曾野木小学校	存続	存続			
曾野木 ひまわりクラブ	存続	存続			
曾野木中学校	存続	存続			

【今後の進め方】

実行計画策定の検討と同様に、計画の実施にあたっては、地域や施設利用者などに意見聴取を行いながら進めます。